

第11回 キャンパスベンチャー グランプリ中部 入賞者決まる



カラオケの利用者増加につながるプランを提案

少数でのカラオケは歌える回数が多くなる利点がある一方で、大人数の場合に比べて「盛り上がり」に欠ける」という面もある。少数でもより楽しく歌えるようにすれば、カラオケの利用者を増加させることができるかと考えた。そこで、アイドルなどの音楽ライブコンサートにおける会場の盛り上がり、疑似的に再現するシステムを提案した。音楽ライブコンサートでは、ファンが曲の合間などに「ハイ」といった掛け声とともにペンライトを振る光景が見られる。これが歌い手も含めて会場の一体感を生み、盛り上がる。この点に着目



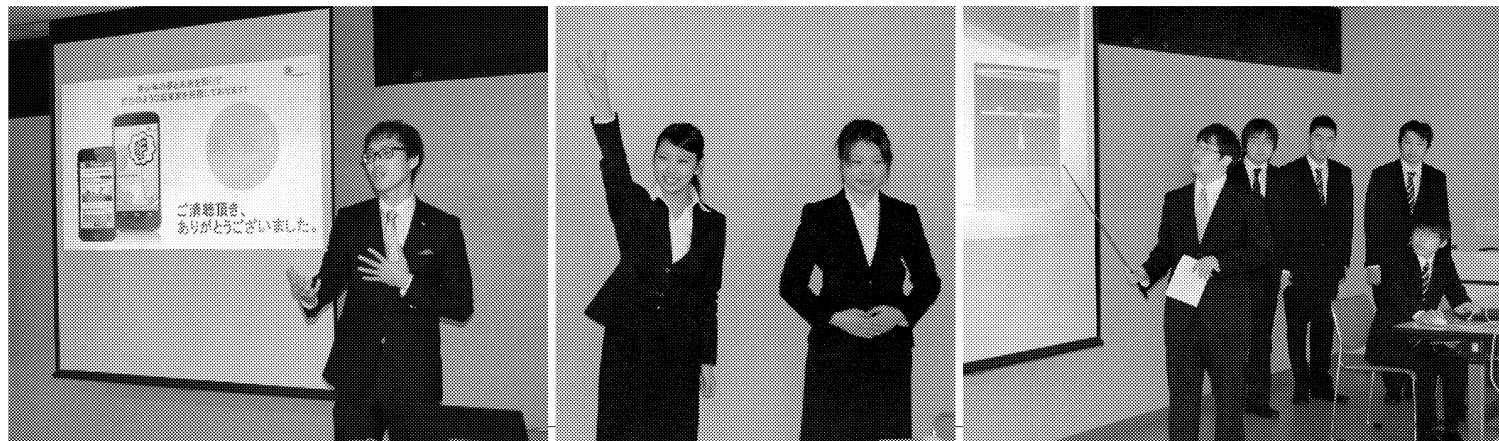
岩間 芳宏さん

名城大学大学院理工学研究科
大和 拓也さん
岩間 芳宏さん
大地 徹さん

ペンライト型デバイスを用いたカラオケの 仮想LIVE化システム

CVG中部大賞

し、本プランのシステムは、振ることによって、そこから掛け声が再生されるペンライト型のデバイスを開発。デバイスとデバイス信号を受け取るレシーバーで構成し、カラオケ店で使用されているパワーアンプにプラグで音声入力できるようにした。本システムは現在、決まった掛け声しか再生できなため、今後、曲ごとに掛け声が変わるようにする。また、カラオケの歌詞が表示される画面上部にデバイス振るサインを表示して、採点を行うリズムゲームの要素も取り入れるなど、さまざまな工夫を施す。事業面では、デバイスとレシーバーをカラオケ店に年間契約で貸し出す計画。初年度はシステムの有用性を認識してもらう意味も含め無償とし、1000施設への導入を目指す。2年目以降は年間2万円とする。



身振り手振りを交えて力のこもったプレゼンテーションを展開。審査員にプランの新規性などを訴えた

大賞含む9プラン入賞 応募は前回比14件増

件、新規ビジネス部門42件となった。応募プランは産業技術総合研究所中部センター所長の島山泰宏審査委員長をはじめとする審査委員が、書類選考を実施。厳しい選考を通過した22件にプレゼンテーションの機会を設けヒアリング審査を行った。新規

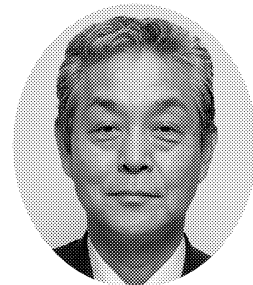
大学、高等専門学校、専門学校の学生から新製品やサービス、ビジネスアイデアを公募し優れたプランを表彰するものの、第11回目となる今回は応募総数24校201件(前回比14件増)。部門別内訳では、新技術部門19件、情報通信部門96件、環境・健康・福祉部門44件、独創性、事業・市場性、表現力などを評価基準として入賞プランを選んだ。大賞プラン「ペンライト型デバイスを用いたカラオケの仮想LIVE化システム」は、音楽ライブなどで使用されるペンライトを模したデバイスを振ると、スピーカーから「ハイ」などの掛け声が再生されるというシステムで、カラオケ店での利用を提案した。デバイスのユニークさに加えて、ビジネスモデルの点についても評価された。中部経済産業局長賞の「Function&Stationery」「Happiness」は、外国人向けの文房具専用販売サイトを提案。外国人が海外に広がる日本の文房具を購入できるサイトで、販売する文房具は中小メーカーの製品に特化しているのが特徴。海外進出できない中小メーカーの販路開拓、新規顧客獲得などが期待できる点が高評価を得た。今回のCVG中部は、イビデン、NTTドコモ東海支社、カインダストリーズ、新東鉄工業、東建コーポレーション、東邦ガス、トヨタ自動車、日本ガイシ、フラザ工業、ヤマザキマザック、リンナイの各社が協賛。自治体も愛知県、岐阜県、三重県、石川県、富山県、名古屋が後援した。



ビジネス性の観点からも厳しい審査が行われた

地域に活力を

実行委員長 井水 治博
(日刊工業新聞社社長)



栗岡前実行委員長の後任として、今回から実行委員長をお引き受けいたしました日刊工業新聞社の井水です。大変重要な役割をいただくことができ、うれしく思っております。

さて、21世紀は「知価社会」の到来と言われ、産業界でも「知恵と創造性の発揮」が求められています。大学が有する知的財産を産業に生かすべく「大学発ベンチャー」も活発に展開されています。

キャンパスベンチャーグランプリはそうした時代のニーズに即して、新鮮な発想、ユニークなアイデア、独創的な技術、情熱あふれる若者の挑戦に期待し、学生によるベンチャービジネスのアイデア・事業プランを競い合う場です。コンテストを通じて、日本の次代を担う若者の人材育成と新産業創造を目的としています。

グローバル競争が激化するなかで日本が発展していくためには、既存の事業基盤を強固にしつつ、絶えず新しい事業を創出し、社会のニーズに合った価値を提供し続けなければなりません。

キャンパスベンチャーグランプリ中部は今回で11回目を迎え、24の大学・高等専門学校から201件の応募があり、中部地区の学生の起業や新事業創出に向けた意識の高さがうかがえました。また、応募プランの中身を見て、中部地区は日本発展をけん引する可能性を十分に秘めていると感じました。応募者の学生にはその先頭に立ち、地域に活力を吹き込んでほしいと思います。今後の活躍に大いに期待しています。

中部地区の学生によるビジネスプランコンテスト「第11回キャンパスベンチャーグランプリ(CVG、愛称「キャンズプラン」)中部」(主催「キャンパスベンチャーグランプリ中部実行委員会、日刊工業新聞社名古屋支社」)の審査結果がまとまった。CVG中部大賞に名城大学の学生によるペンライト型デバイスを用いた「仮想LIVE化システム」が選ばれた。今回は大賞を含め9件のプランが入賞。表彰式は30日、名古屋市中村区の名古屋マリリオットアソシアホテルで行われる。

きょう名古屋で表彰式

表彰式では、大賞を受賞した岩間さんらに賞状と賞金100万円が贈られる。また、岩間さんが受賞プランのプレゼンテーションを行う。特別賞である中部経済産業局長賞には中京大学総合政策学部の酒井桃子さんの「Function&Stationery」「Happiness」が選ばれた。同じく特別賞の中部経済連合会会長賞には同大同学部の牧絵梨香さんの「JAPAN LOVERS」伝統工芸事業所と訪日外国人のマッチングサイト」が選出された。

なお、大賞と中部経済連合会会長賞の両プランは3月6日に東京で開催されるCVG全国大会に出場する。全国大会には全国8地区から選ばれた代表が参加し、フラッシュアップしたプランで全国を目指して競う。CVG中部は次世代を担う若者の育成を目的に、中部の富山・石川・岐阜・愛知・三重県

私たちはキャンパスベンチャーグランプリ中部を応援しています

イビデン
NTTドコモ
カインダストリーズ
新東工業
デンソー
東海旅客鉄道
東建コーポレーション
東邦ガス
トヨタ自動車
日本ガイシ
ブラザー工業
ヤマザキマザック
リンナイ

(五十音順)